



(80周年記念号)

編集発行 第26号
群馬県立桐生工業高等学校
桐生市西久方町1-1-41
TEL (0277) 22-7141
FAX (0277) 46-4703
同窓会事務局 編集部
印刷 株式会社大間々印刷

会長挨拶

記念誌の寄稿等に感謝

会長 蛭間謙次



同窓会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと推察申し上げます。

ためより一層のご協力をお願い申し上げます。

暑日が続ぎ、熱中症が全国的に発生し、病院へ多くの方々が搬送されたと見聞きしております。エアコンを一日中作動していなければならぬ日々が、数日続いたのはご存知の通りであります。全国的には集中豪雨があちこちで発生し、特に広島県では大規模な土石流の災害に見舞われました。地球温暖化と同時に異常気象の現象が多発しています。しかし、秋も深まり会員の皆様には桐生同窓会の発展のために日頃からご理解、ご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

すでにご案内の通り同窓会の目的は「会則第三条に会員相互の親睦と母校との連携を保ち、母校の教育振興に寄与する」であります。会員の皆様には、この目的達成の

さて、今年には群馬県立桐生工業高校の開校八十周年記念の年であります。既に「創立八十周年記念誌・仲ばせ学舎栄えある母校」は発行済みですが、本校は昭和九年五月に群馬県立桐生工業学校として設立し、色染科と機械科の二科で開校したそうです。現在は全日制機械科・電気科・建設科・染織デザイン科の四科と定時制工業技術科があり、特に染織デザイン科は全国的にも特質すべき科となっております。

この記念誌作成に当たっては、多方面の方に寄稿と貴重な記念すべき写真等をお借りし、ここに発刊することができ、誠に有り難うございました。編集係の先生方と係長の堀川宗雄先生にはお世話になりました。

今年も同窓会最大の行事である恒例の親善ゴルフ大会が八月二十六日(火)に赤城カントリー倶楽部で開催され一五三名の参加をいただきました。天候はあいにくの降雨で気温は二十五度位、雨さえ降らなければ最高のゴルフ日和だったと思います。少々残念でした。桐生の教職員をはじめ、他県からも大勢の方に参加していただき、今年も大いに盛り上がりを見

せ、心から感謝申し上げます。各支部の役員や実行委員の方々と、事務局の綿密な資料作成もあり、予定通り始まり、滞ることなく全員クラブハウスに帰還いたしました。体調を崩す方も居らず、表彰式を迎え、乾杯の御発声は大沢幸一様にいただきました。成績発表、表彰式と続き、個人戦の優勝者は三室富己様で、団体戦は第十六支部の二連勝でした。来年もこの時期に開催したいと考えていますので、心に留め置き下さい。最後になりますが、会員の皆様にはお身体にご自愛いただき今後とも同窓会と母校の発展のために、ご協力をお願い申し上げます。

校長挨拶

大いなる歴史と伝統の上に

校長 樋口高則



同窓会員の皆様には日頃よりの母校の教育活動に對してご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。同窓会報『桐生第26号』の発行を心からお慶び申し上げます。

また、本校が創立80周年を迎え開校記念式典と記念誌発行が無事終了出来ましたことを改めて御報告申し上げます。記念誌は、写真や新聞等の記事と多くの同窓生から寄せられた寄稿文を中心に30ページに及ぶものとなりました。表紙に書かれた「仲ばせ学舎栄えある母校」の言葉は校歌の3番に使われている詩であり、歴史と伝統を受け継ぎ、正に未来へと羽ばたかんとする本校への期待を背負った重さを感じる事が出来ると思えます。この節目の時に桐生へ勤務出来た喜びを大いに感じております。発行に向けてご協力いただきました同窓会会長様始め多くの同窓会員の皆様にご心より御礼申し上げます。

本年度の同窓会総会終了後に同窓生で歌手の夏川陽子さんが3曲ほど歌を披露してくれましたが、それがきっかけで初副会長様の口添え等があり、彼女の歌う『初志貫徹』という歌が群馬テレビの夏の高校野球のテーマソングになりました。元々この歌は昨年度の開校記念行事で彼女を学校に招き、体育館で歌ってもらい、その後、桐生の生徒のための応援ソング的な存在として作ってくれたものです。大いに本校生徒に勇気を与えてくれました。真夏の炎天下の中でしたがスタンドに応援にも来てくれました。そんな甲斐もあってか、桐生野球部は4回戦進出という久しぶりの躍進を見せてくれました。また、全国高等学校総合文化祭が今年度茨城県で開催されましたが、本校から美術部と写真部の生徒作品が厳しい県予選の中から選ばれ出場しました。大会終了後は学校へ戻ってくるので校内に展示いたします。ご来校の際にはぜひご覧いただきたいと思えます。

26年度の学校要覧に記載され

た本校の卒業生総数は二〇、六二一名です。昭和九年五月一日群馬大学の一部を借りて開校式及び入学式を挙行した桐生工業高校が、さまざまな時代の変化に対応しながらも伝統を重んじ80年という歴史を刻んできました。立派にご活躍されている多くの同窓生の皆様に敬意を表すると共に、毎年卒業する生徒達を暖かく迎え入れていただけるよう御願致します。皆様のますますのご健康とご活躍を祈念致します。

開校記念講演

創立80周年、節目の講演会は5月1日(木)に開催され、講師に昭和48年機械科卒業、現在きりゅう市民活動推進ネットワークセンター運営委員長を務められます角田百先生をお招きしました。演題を「『三方よし』に学ぶ共生社会をみんなで創る明るい世界」とし、学校・企業で実践されている、また自ら携わった地域活動などを交え、より良い地域を創る為には何が必要かを熱心に話していただきました。

特に「挨拶はコミュニケーションのスタート」・「返事は0.2秒で返すと信頼関係が築ける」等、挨拶・返事の重要性を、のちに未来を担う後輩へ伝えていただきました。



総会

● 期日
平成 26 年 6 月 21 日 (土)

● 会場
桐生市市民文化会館
4 階 スカイホール

今年の総会は 86 名の会員の
方々に出席いただきました。

第 1 部 総会

平成 25 年度事業
報告・会計報告・
監査報告・支部活
動状況報告。平成
26 年度事業計画
案・予算案・役員
改選案をご承認い
ただきました。役
員改選では、第 13 支部長に田島
忠一氏 41 W、顧問に塩田久敬定
時制教頭を承認。同窓会表彰者
(叙勲・褒章、国の表彰) 4 名に
記念品の銀盃が贈呈されました。



第 2 部
染織デザイン科卒業生・歌手の
夏川陽子さんに新曲を含め 3 曲歌
つていただきました。

第 3 部 懇親会
出席者全員と夏川陽子さんも校
歌を唄い、八木橋祥介顧問の乾杯
で懇親会が和やかに始まりまし
た。

第 2 部と第 3 部を群馬テレビが
取材。後日、昼の番組「ひるポチ
ツ」で放送されました。



歌手の夏川陽子さん
ソロ 2nd シングル
「Present」
「初志貫徹」
5 月 14 日・リリース

親善ゴルフ大会

8 月 26 日 (火) に 153 名参加
の下、第 23 回親善ゴルフ大会が
赤城カントリー倶楽部で開催され
ました。全日雨天、ハーフで棄権
2 名、途中からスタート 1 名。
大会結果を報告いたします。

◆ 団体戦 (上位 5 名、ネット合計)
優勝 第 16 支部 361・2
2 連覇・団体優勝 3 回目

準優勝 笠懸支部 367・4
第 3 位 大間々支部 367・6

◆ 個人戦 (ネット)
優勝 三室富己雄 68・4
準優勝 腰塚富夫 70・2
第 3 位 星野昇司 71・2



団体優勝



個人優勝

◆ ベストクロス賞
グランドシニア 氏原宏文 77
シニア 橋本隆年 76
一般 小堀勝美 72

◆ ニアピン賞
幾井俊雄 田島紀幸 箱田一孝
高草木喜一 (2 ホール)

岩脇壮充 内池孝治 森田征雄

◆ ドラコン賞
G シニア 橋内 俊 郡司哲生
森下和夫

シニア 新居喜一 伊藤久夫

一般 松岡三郎

一般 峰岸 勇 (2 ホール)

村岡晋弥 鹿木健司

夏川陽子さん所属の「M」が 9 月 6 日の
東京ガールズコレクションに出演しました。

県外支部活動報告

支部長 茂 (26 W)

娘自慢

同窓会本部の蛭間会長様と同じ
くして 4 期目の重責を担うことにな
りました。心の拠り所となつて
いる同窓会行事を楽しみながら融
和と地域貢献を果たして参ります。
糟糠の妻が早世し、はや八年が経
ちました。我が家は今、娘と最小の
「コニー」での生活となつておりま
す。何くれとなくソツと面倒をみて
くれますので有り難い存在です。
『男やもめに蛆がわき、女やもめに
花が咲く』という言葉があるように
ですが、いつも清潔な環境に身を置
いており、本当に身に沁みて実感し
ているところです。アリガトウ!!

そんな娘は、大学卒業後に 8 年間
英・ロンドンへ留学し、輸入雑貨の
会社勤めをしております。英国に
友人もあり、交流・親交を深めて
おりますので国際的な女性になつ
たなあと感じていたのですが、最
近、ビックリ企画を持つて来て協
力してほしいと懇願されました。
1999 年 NHK で放送された SF
コメディの「RED DWARF 宇宙船
レッド・ドワーフ」の最新シリーズ
が、日本語吹き替え版でついに日本上
陸 (2015 年) するのですが、その翻
訳をしたといつのです。DVD 発売 &
レンタルが決定したので協力をとお
願いされ、即刻 OK 出して数百枚の
パンフを持ち PR 活動しています。翻
訳業もやっていたとはびっくり。知ら
ぬは親なりか。久美子カンパレ!

中部支部

副支部長兼事務局
岡部和夫 (39 MI)



昭和 39 年機械
科を卒業し、因ら
ずも繊維関係の
会社に就職しま
した。当時は戦
後の日本経済復
興の先導を担つ
ていたのが繊維
産業でした。寮

や社宅等の福利厚生施設が他の産
業より充実していたのが決断の一
因であり、故郷を離れて生活する
身では必要不可欠な条件でした。
国内では日本の大動脈として東
海道新幹線・名神高速道路が開
通、東名高速道路の交通網が整備
され東京オリンピックが開催され
た年でもありました。名古屋圏の
一宮市は毛織物業が盛んで尾州産
地として隆盛を極めていた時代
で、多くの卒業生が活躍していま
した。ノコギリ屋根の工場が立ち
並び織機の音が聞こえて来る町の
光景は故郷桐生にどこか似てい
て親しみがありました。
17 年前、この地で生活基盤を
確立した卒業生が同窓会中部支部
を設立。現在、構成会員の平均年
齢が 72 歳となり正に限界集落並
の組織集団となりましたが、故郷
を遠くに持つ思いの絆は強く県外
支部が故の結束力で、活動内容も
年々充実してきています。
特筆すべき活動は毎月開催して
いる「お茶会」です。お互いに近
況を語り健康状態を確認し、四季

静岡県支部

事務局長
野竹康和 (40 E)

折々の行事を企画検討して親睦
を深めています。今年も 5 月に
定期総会、7 月に「やなで鮎を食
べる会」を開催し、11 月には世界
遺産の「熊野三山めぐり」を一泊
で計画しています。今年には卒業し
て 50 年の節目の年、懐旧と「日々
是反省」で悔いなき人生を過ごす
この頃です。



開校 80 周年
の記念すべき
本年、歴史と
伝統に映える
校舎を見上げ
つつ先人の築
いてきた足跡
に畏敬の念を
禁じ得ませ
ん。静岡県支部は、平成 9 年 4 月
に設立し、本年の支部総会は第
18 回目を数えるに到りました。

桐生近郊の支部では、埼玉県支
部、足利支部、そして関西支部につ
いて、中部支部と同時に設立発足
致しました。私も支部に桐工第
1 期生の大澤房次郎先輩が焼津市
に居住されていて、同級生の今井
嘉吉先輩が、先に設立された関西
支部の支部長をされていた縁もあ
り、今井先輩の導きもあって晴れ
て支部設立に到った訳であります。
支部発足以来数年、何かと関西支
部の皆様にはお世話になりました。
大澤、今井両先輩にも数々の
厚情を頂戴しましたが、残念なが
ら両先輩共故人となりました。

関西支部の皆様とのおつきあひもさる(こ)ながら、兄弟支部ともいっべき中部支部の皆さんとのおつきあひは今日まで続いております。両支部とも支部発足以来単独の支部総会を5回程開催し、お互い支部を代表して総会に参加して参りましたが、中部支部の方で一泊の総会を三重県の湯の山温泉にて開催し、好評だったことに端を発して翌年から両支部合同で開催し、本年度迄13回を一泊合同総会として開催して参りました。中部で8回、静岡で5回、それぞれの名所、温泉地での総会の思い出は沢山ありました。今後も両支部、相携えて前進して参ります。

埼玉県支部

副支部長
小宮良光 (36 E)

◆キトラ古墳壁画と日本銀行見学



日帰り交流会を五月十五日(木)に実施しました。東京国立博物館で「キトラ古墳壁画展」が催されるのを新聞で知り、支部長と話し合っ、この特別展と日銀見学に決定しました。

当日は東京に明るい村田一先輩(31 M2)に先導をお願いし、上野駅の公園口前に9時50分集合です。全員揃った所で入場券を買い、門を入った頃から行列です。待ち時間1時間50分の看板表示でした。これほど人気があるとは想像していませんでした。土・日曜日避けて計画したのですが、皆さ

んの関心の高さを実感しました。飛鳥時代(七〜八世紀)の石室に描かれた極彩色壁画特別展です。古代飛鳥の美と世界観に思いを馳ながら鑑賞です。朱雀、白虎、玄武と天文図を見学し、文化財はかけがえのない人類の遺産であることを知りました。この壁画が伝えるメッセージを広く受け止めて明日の糧とします。少し遅めの昼食は三越本店内の食堂で、参加者全員九名が顔を合わせて話しながら食べました。次は貨幣博物館です。古来からの貨幣の実物や関係資料を貨幣の歴史や貨幣の持つ機能、役割、貨幣と社会の関わりなどを見て回りました。

最後に日本銀行本店の見学です。一日に四回入場の最後の組でした。始めに全体の見所をビデオで見て、その後グループ別に各室を回り、ガイドの女性の話を聞きながら進んでいきます。明治十九年に建てられた重要文化財の本館は賞禄充分な建物でした。歴代の総裁の肖像画が廊下に飾ってあり、旧地下金庫エリアは見た事もない厚い鉄板の扉で何重にも扉があり、中に入る事は到底できないシステムになっています。

見学後、近くの喫茶店にて、さらに親交を深めました。「今日は楽しかったね」「次は遊覧船による遊び」「武蔵野市巡り」等の次回への思いを語り合いました。話題も尽きず、楽しい時間を持てました。その上一人一人が自らの役割や自分に出ることを考えて行動して下さり、大変ありがたかったです。

創立80周年を記念しまして県内の六つの支部より近況を報告させていただきます。

**祝創立80周年記念特集
県内支部活動報告**

支部長
山田祐介 (31 M)

第6支部

■支部活動の思い出



支部の設立また支部長として長年ご尽力いただいた須貝前支部長の活動の基本は会員が気楽に集まれる事に配慮し、総会は地元の集会所で軽装で集まれ、まずは生ビールで懇親を深める事を念頭に開催して居りました。しかし近年は参加者も減少してきまされたので、学区区が同じ二区、七区との合同で開催する様になりました。前回は二十五年三月十六日、午後六時より六区主管であらずま会館で開催致しました。

当日は同窓会本部より蛭間会長、腰塚副会長、百海事務局長のご来席を頂き、また形式的な式進行の後、出席者全員のユーモアあふれる自己紹介・近況報告等で会場の雰囲気もやわらぎ、懇親会も盛り上がりしました。特に、戦時中の桐生生は毎日重労働工場へ勤労奉仕にかり出され、向学心に萌えている時に勉強と

ころではなかったという苦勞話を、若い会員が興味深く聞いていたのが印象的でした。そして最近、政治の右傾化が心配されて居りますが、二度と戦争の悲劇を繰り返してはなりません。また、最後にいつもの参加者全員で肩を組んで校歌を斉唱し、桐生時代を思い出し感動し、アンコールで二度歌いながら次回の再会を楽しみに会を終了しました。

第8支部

■次期支部長決まる



支部長
後藤新平 (35 M)

第八支部は本町五丁目、元第一動銀から赤岩橋方面に行く旧国道50号線両側の末広町、巴町、宮前町、堤町、元宿町の商店街、住宅地域です。以前は桐生市内で人口の多い地区でしたが、昭和後期頃より人口減が顕著になり往時より半数以下になりました。第八支部は桐生市内で一番遅い設立になり、卒業生は三百五十数名程になりますが、市外に就職したり、八支部で居住している方々の転出が増えている、会員が減少しているのが現況です。また同地域に居住している会員間の繋がりや交流する機会も少なく、なかなか思うように疎通出来ないのが実状です。役員同志の親睦会も皆さんが忙しく隔年で実施出来るよう努力しています。

第七回支部総会を七月二十六日(土)に開催する事が出来ました。会場はJR桐生駅南口の美喜仁館で十一名の参加で懇親納涼会を兼ねての開催でした。初めて参加する方も居り、自己紹介から始まり、役員改選で次期第三支部長は小田部恒夫氏41 Aに決まりました。その後、本部監査役田辺七三氏のご発声で懇親会に入り終始なごやかな雰囲気の中で進み、親交を一層深めた意義ある総会でした。

第14支部

■梅田十四支部活動状況



支部長
大澤一卿 (32 W)

平成元年に十四支部が設立され会員数四百八名。初代支部長より数え私で六代に至っております。この様に長い間の支部活動を運営して参りましたのは、歴代の支部長さん始め同窓会会員皆様方の努力とご協力があつたからだと思います。私が支部長に選任されてからの年の初めの頃に三役会議を開催し、一年間の事業計画を話し合い其の計画に沿って支部活動を進めております。

平成二十五年には桐生定時制軟式野球部より全国大会出場のため募金をお願いがありました。支部の皆様方のご協力によ

り三十名の方より募金が集まり感謝しております。また桐工親善ゴルフ大会に於いては第一回より二十三回まで毎年五十名は参加され、団体では二十一回が準優勝、二十二回が四位入賞と素晴らしい成績を収めて参りました。

年度末に於かれましては毎年会場を決め総会を開催致します。経過報告、決算、監査報告等を協議致します。其の後懇親会に移ります。総会での結果は毎年桐工同窓会事務局へ届けております。これからも十四支部の活動を推進して参りますので宜しくお願い致します。

第17支部

支部長
北村 潔(40M)



前回の総会が平成19年に実施され(約20名参加)、星野利夫支部長(28W)から引継を受け新支部長になりました。約7年

ぶりに今回総会を開くことが出来ました。17支部は、桐生川東側にあり、1丁目から桐陽台、5丁目までの6町会あり、昭和36年当時、栃木県から群馬県桐生市に越県合併した経緯があります。桐工ブランドは栃木県側だったのです。

当日は蛭間謙次同窓会長(34

D)、黒澤清市副会長(43M)、百海晃弘事務局長(50W)を始め総勢17名の参加をいただきました。

あいさつの後、全員で桐工校歌を歌い元気にスタートし、総会では新常任幹事に林茂氏(40D)、村岡俊村氏(41E)、2名の賛同を得ました。尚、旧常任幹事の岩崎朝七氏(32W)及び粉山和雄氏(32M)については長い間ご苦労様でした。他の役員は以下の通り全員留任です。支部長 北村潔(40M)、副支部長兼常任幹事兼顧問 板井政夫氏(26M)、会計 藤倉敏夫氏(40M)、書記 國松浩氏(40D)、会計監査 黒澤正一氏(43E)です。その後、懇親会に移りました。

卒業から約50年を経過したの、各自の自己紹介及び当時の学校生活と、現在の生活状況を忌憚なく発表し、全員で感心しながら聞き耳を立てて聴き、たいへん盛り上がりましたが、あつという間に時間も経過し、今後の同窓会の方針を決めました。年一回の役員会の開催、2020年東京オリンピックの時に総会の実施を決めて、また新会員の発掘を行い、桐工同窓会第17支部が更に発展するようにしたいと確認いたしました。

終わりに希望ですが、昭和36年以来(私たちが入学する前年)桐工野球部の甲子園出場の実現出来ることを願って終わりとします。その時は、寄付金集めの先頭に立ちたいと思っています。

第18支部

支部長
小林宏光(37W)



■ヨコのつながり

ここ十年 来は十五支部と合同でつまり相生町全体という形で二年

に一度の持ち回りで総会と懇親会を開催しています。近況は今年の三月二日に十八支部の主催で行いました。参加者は毎回おおむね二十数名です。有意義な時間を過ごしています。課題としては全世代の同窓会の悩み所であります年齢層が偏っています。当然に我が支部も若い人の参加が少なく、現代の社会現象と同様で好ましいことではありません。

小さな光ですが去年の夏に見えてきたことがありました。それは定時制野球部への寄付金集めの時の事です。あらかじめ決めた事してから行動をしました。一つ目は三十名を目標に募って、その内十名は若い人のお宅に伺うこと。二番目が千円均一としたことでした。廻ってみても感激をしました。まずは一人も断られなかった事です。そしてそれぞれの方が母校に想いを持っていることでした。立ち話程度でしたが、同窓会も今の社会が求めている一つの横のつながりであることを実感しました。改めて地域社会も念頭に、ヨコを大切に活動します。

群馬中央支部

事務局担当
飯田至弘(34E)

■慶徳さんありがとうございました
誰よりも桐生工業高校と同窓会を愛し、ゴルフの大好きだった慶徳勝正さんが平成二十六年五月三十日、満八十六歳にてご逝去されました。昭和二十年三月紡織科卒業の大先輩でした。

告別式場の入口には富岡ゴルフ倶楽部十七番ホールでスイングをしている等身大の慶徳さんが待っていました。たくさんのお供物があるなか、「桐生工業高校同窓会群馬中央支部」の生花は祭壇のすぐ近くに飾られていて、胸が熱くなりました。

慶徳さんは前橋支部(その後群馬中央支部)の設立から今日に至るまで、大変ご尽力されました。

平成七年三月十八日、前橋支部は二十九名の出席者で発足しました。常任幹事になられた慶徳さんは「親善ゴルフコンペ」を何度も計画され、平成十二年十二月の「懇親ゴルフコンペ」は本部と埼玉支部にも呼びかけ、二十八名の参加で、交流と懇親を深めることができました。

私たちは、何度も大きな病気を乗り越えられた慶徳さんと、もう一度ゴルフを、と願っていました。が叶いませんでした。慶徳さんのご冥福を心からお祈りします。



「慶徳勝正さん追悼ゴルフコンペ」
主催 群馬中央支部
日時・会場 11月26日(水)富岡ゴルフ倶楽部
(0274-6714111)
ブレイク 8000円(食事付き)
申し込み 飯田(027-2217008)
締切 11月13日

関西支部母校訪問

昨年11月、関西支部創立20周年企画「ふる里桐生を訪ねる旅」・『母校訪問』で9名の方々にご来校いただきました。木曜日の夜に大阪を発する夜行バスで、途中京都を経由し、金曜日の早朝に桐生駅南口に着くシルクライナー号です。殆どが卒業以来、40数年、50年・60年ぶりの方々です。機械・電気・建設・染織デザイン科を見学していただき、バスケットボールとプラスバンドの部活動も見学。夕方には同窓会主催の歓迎懇親会で大いに盛り上がりました。



プラスバンド部員・後輩と共に
関西支部一行は、翌日の土曜日に伊香保温泉泊。日曜日には再び桐生に戻り、街中を散策。そして夜行バスにて帰阪されました。

ゴルフ&野球OBチーム健闘

群馬県高校OB対抗ゴルフ選手権大会第3位に輝く
田島孝宏(45W)

今年で第三十七回目の群馬県下高校OBゴルフ選手権が上毛森林カントリークラブで開催さ

れますが、我が母校のこれまでの最高順位は五位が最高でした。しかし昨年度は三十チーム中第三位の成績を上げることができました。快挙だと思います。

チーム編成は六名の選手で五人のグロス合計での成績です。我がチームは個人成績の上位の選手はいませんでした。チームワークが良く平均的な成績のため第三位になることができました。

チーム紹介はキャプテン田島孝宏、中山晴雄、小堀勝美、一場完次、井沢一彦、遠藤英夫、計六名の選手です。

今後の抱負として優勝を目指すためには若い選手の発掘だと思います。それには今回で第二十三回目になります。桐生同窓会親善ゴルフ大会に若い同窓生の参加を希望します。今後同窓会の方々の協力をお願い申し上げます。

群馬県高校OB野球大会
に参戦して

硬式野球部OB会長 石川和孝(36D)



同窓会員の皆様には日頃硬式野球部に對しましてご理解、ご支援を戴きOB会一同感謝申し上げます。

昨年農二OB会より、全国組織マスターズ甲子園参加を見据えて、県内OB会設立準備会の呼び掛けがあり桐生OB会は積極

的参加を決めました。

昨年4月には、県高校野球OB連盟が発足の運びとなり、6月には記念すべき第一回、群馬県高校野球OB大会兼マスターズ甲子園予選が13校の参加をもって開催されました。桐生OB会は惜しくも2回戦で富岡OB会に敗退しましたが、記念大会の為に甲子園出場は県選抜チームとなり、桐生OB会からも6名が選ばれ参加。母校のユニホームに腕を通し、憧れの甲子園、澁刺としたプレーの中で、その雰囲気をも身に受け止めてきました。

尚、今年度は県選手権大会のみで、甲子園出場はありませんでしたが、16校参加し、吉井OB会の優勝で閉幕しました。桐生OB会、今後この県高校野球OB大会を契機に、より強力なチーム作りを押し進め、会員相互の親睦と活性化を図り、強い母体野球部の活躍に繋がればと考えています。

学校だより

桐生の進路指導と
進路状況について

進路指導 富岡賢洋

平成十年度を最後に、同窓会報の進路だよりは途絶えていましたが、このたび会報に進路情報コーナーが設けられましたので、会員の皆様に本校の進路指導および進路状況についてお知らせいたします。

現在、本校では次の三つの目標を掲げ、学校全体として進路指導にあたっています。

- ①基礎学力の充実
②社会力の育成
③生活力の向上

そして、この目標に従って学年やクラスごとに、進路講話、キャリア学習、外部講師による進路ガイダンス、適性検査、実力テスト、三年生による進路報告会、履歴書・志願書作成指導、模擬面接などを実施し、生徒一人ひとりに合った就職および進路指導を行っています。この結果、卒業時にあける進路決定先について、例年九割以上の生徒が満足しています。

二 卒業生の進路概況

平成一三年度以前の卒業生については、就職者よりも進学者の割合が高く、それ以降は就職者が進学者を上回り、現在に至っています。それでもほかの工業高校と比較すると、進学希望者の割合が高い学校であるといえます。

昨年度の卒業生の進路区分は、就職者が五六%、進学者が四六%(大学一五%、短大三%、専門学校二八%)で、このうち重複している二%が就職進学者となっています。

学校斡旋就職では、第一回応募者の内定率は八二%で、一昨年の八七%より低下しましたが、県内の工業高校では毎年上位に位置しています。なお、就職者の割合が最も高かったのが機械科で、電気科と建設科がそれにつぎまきました。染織デザイン科

は、ほぼすべてが女子生徒で、専門学校への進学傾向が強いこともあり、就職者は他科より少なくなっています。

進学のうち、大学への進学者は三〇名でしたが、一三年度以前と比較すると一〇名ほど減少しています。大学の系統別では、工学系が約七割、残りが文系や保健系でした。短大(能開大含む)は六名で、一時期より希望者が減少しています。専門学校へは毎年五〇名ほどが進学していて、本校では就職者に次ぐ進路先となっています。系統別では、医療、衛生、文化・教養系で約七割を占め、女子生徒の割合が高くなっています。

過去三年間の詳しい進路状況につきましましては、本校HPの進路状況ををご覧ください。

工謳祭

第25回 工謳祭

「おもてなし」開催
生徒会長 六本木若葉



平成26年6月6・7日に本校で工謳祭を行いました。今年は耐震工事の関係で通常2学期のところを6

月に開催しました。本部役員が準備を始めたのは2ヶ月前の4月です。とても忙しく時間に追われるスケジュールで苦労しました。当日が近くなるにつれ、本部役員

で集まる回数も増え、夜遅くまで残ることも多くなりました。

そして当日、6日は生徒だけの工謳祭です。準備してきたことを発揮したい!!と思っていました。だが、やはりハプニングは付き物でした。指示する立場の私ですらとても戸惑ってしまいました。

その反省点をふまえて、次の日の一般公開の日にも挑みました。天候が悪い中多くの方が来場してくださり、大変盛り上がりました。同じくハプニングはありませんが、動することはなくテーマ「おもてなし」とあり、無事対処することができました。準備段階から大変なこともありましたが、とてもやりがいがあった良き思い出になりました。多くの方々に感謝し、お礼の言葉といたします。

記念誌編集にあたり

80周年記念誌係長 堀川宗雄

「群馬県立桐生工業高等学校創立80周年記念誌『栄えある母校』」を発刊できましたこと担当者一同、心よりお慶び申し上げます。編纂にあたっては、ゆかりの先生方や数多くの会員の皆様にご協力をいただきました。本誌は本校同窓生、旧・現職員の愛校心と底力の結晶です。一人でも多くの方にご高覧いただければ幸いです。





今年、体操部は電気科三年、富岡健太郎くんが宇都宮で行われた関東大会へ出場しました。富岡君は一年のときから出場していますので、三年連続の出場となりました。得意の跳馬で13・10を出すことができましたが、他の種目が思つように伸びず、結果101人中65位という結果に終わりました。

編集方針は、「視覚による当時へのタイムトラベル」つまり「懐かしいあの時代への誘い」でした。ゆえに卒業アルバムや生徒会誌、学校案内などの文章や写真、また部活動の活躍を紹介する新聞記事を多用しました。会員の皆様からも貴重な資料を多数お寄せいただきました。「百聞は一見に如かず」です。同窓生の皆様方には、ぜひ手に取っていただき、懐かしい写真を見ながら、思い出話に花を咲かせていただければ幸いです。

部活紹介

「不易流行」は俳聖松尾芭蕉の言葉です。変わらぬ守り継ぐべきことが必要である一方、常に新風を吹き込むことの重要さを示しています。記念誌は本校の軌跡です。「温故知新」という言葉が示すとおり、記念誌は我々に実に多くのことを語りかけてくれます。

た。しかし、三年間毎日数時間の練習に励んできた姿は、入学時とは比べものにならないほど逞しく凛々しい姿になっていました。今後、富岡君は体操や体を動かすことの楽しさをもっと多くの人、特に子供達に知ってほしいと、大学進学をし、教員を目指そうと考えているようです。いつか、桐生に入学する生徒は富岡君の教え子、ということが実現するといったと思います。

顧問 白田咲枝

自転車競技愛好会

自転車競技愛好会は、二十二年に振りこ復した部活動です。現在は、一年生一名ですが、関東大会へ出場できました。本校では、昭和六十二年に初めて高体連に登録し、六年間活動しました。関東大会へは、全活動期間、インターハイへは、五年連続出場しました。前回の監督した時の反省を踏まえ、今回は全国大会上位入賞を目指し活動していきます。



顧問 櫻井敏弘

美術部

昨年度の高校芸術祭で最優秀賞を獲得した鈴木葵生(3S)は、今年度の全国総文祭へ出品が決定しました。作品は、三猿をテーマにしたスケールの大きな油絵だ。茨城県近代美術館の展覧会では、全国の優れた作品に少しも引けをとるこ

顧問 内林健治

写真部



となく、堂々とした雰囲気と飾られていた。時折足を止めて作品に見入っている高校生も少なくなかった。

顧問 橋伸一朗

全国高総文祭への出場は、第20回(北海道大会)以来18年ぶりです。2S清水めぐみの『織物工場』は、市内の後藤織物さんに取材させていただいた作品で織物に対する職人さんの気持が伝わる作品に仕上がっています。繰り出される金銀の糸、色とりどりの糸を走らせるシャトルで錦織の帯となつていきます。

また、今大会(茨城大会)では日韓高校生写真交流の一員としても活躍してきました。



定時制の様子

定時制教頭 塩田久敏

同窓生の皆様、定時制教育におきましても変わらぬご支援とご協力を戴き厚くお礼申し上げます。また、昨年の軟式野球部の全国大会出場に際しましては、皆様より多くの協賛金を戴くことができました。重ねてお礼申し上げます。今年、軟式野球部につきましては全国への出場は叶いません

事務局だより

同窓会表彰者

- 井上舜永氏 35W (経産大臣表彰)
- 岡田成雄氏 36M
- (厚生労働省・現代の名工)
- 斎藤文雄氏 50E1 (瑞宝双光章)
- 狩野徳司顧問 (瑞宝双光章)
- 就任役員 (特別会計相談役兼任)
- 八木橋祥价顧問 33W

したが、自転車競技部とバドミントン部からそれぞれ一名が全国大会へと進むことが出来ました。自転車競技部ではロードレースの部で初出場ながら見事四位入賞を果たしました。また、バドミントン部では昨年に続き県選手団として団体及び個人戦で参加し、上位進出はならなかったものの本人は2勝をあげる活躍をしました。来年も多くの生徒が全国大会に出場することが出来るよう頑張りますので、応援よろしくお願致します。定時制の在籍者数は現在54名です(1年11名・2年15名・3年11名、4年17名)。多くの生徒が昼は就業し、授業終了後は部活動に汗を流しています。「学校が好きなだ」と言ってくれて、卒業後も職員室を訪ねてきてくれる者が沢山います。職員もそれに応えるべく全力で取り組んでおります。厳しい環境の中にあつても元気に働き、勉強し、スポーツにと頑張っている生徒のために、今後とも温かく、そして厳しく指導・ご助言くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

例年より一か月早いにも関わらず、多くの卒業生や在校職員の皆様の協力により、無事発行に至りました。内容も県内・外支部活動多方面に渡るO・B・OGの活躍、また在校生の新鮮な様子と充実しました。感謝いたします。今号は80周年を記念し、全会員の方へ郵送しました。これを機に皆様の縁が益々深まれば幸いです。

退任役員(常任幹事・支部長) 細谷昌弘氏 34W (常任幹事) 田島忠一氏 41W (常任幹事) 大平文男氏 43TM (第7支部長) H 26年3月8日(逝去・65歳) 周藤晴二氏 23D (第13支部長) 退任役員(顧問) 池田光二氏 22W (第7代会長) H 25年12月19日(逝去・84歳) 鳥塚啓二氏(教頭・前工へ転任) 本部事務局 上石賢一(建設) 新事務局就任 角田 登(建設) 定年退職退任 根岸賢彦(機械) 係退任 部活動振興(激励金) 体操部と自転車競技愛好会の関東大会、美術部と写真部の全国出張展。定時制バドミントンと自転車競技の全国大会。自転車競技愛好会の関東新人大会に祝金贈呈。 同窓会入会式(クラス幹事委嘱) 2月28日に全日制の194名、3月1日に定時制の12名が新会員になりました。

卒業生で歌手の夏川陽子さんの新曲「初志貫徹」が群馬テレビ放映の夏の全国高校野球群馬大会のテーマ曲に採用。開会式・中継の全28試合と高校野球ハイライトのオープニングエンディングで流れました。